

# 地域経済動向調査報告書

平成29年1月

〔平成28年9月調査  
平成28年12月調査〕

あわらし商工会

# 目次

調査の概要.....	2
平成 28 年 9 月調査結果.....	3
資金繰り DI.....	8
経営上の問題点.....	9
参考：集計表.....	12
平成 28 年 12 月調査結果.....	20
業況 DI.....	21
売上額（売上高・加工高・完成工事高） DI.....	22
売上単価（客単価・加工単価・受注額） DI.....	23
人手 DI.....	24
資金繰り DI.....	25
経営上の問題点.....	26
参考：集計表.....	29

## 調査の概要

- 調査目的 地域経済の動向や業種ごとの詳細な状況を把握するため、域内の中小企業等を対象に景況調査を行い、地域の経済動向の把握と業種ごとの分析を行う。
- 調査方法 訪問面談調査
- 調査実施時期 平成 28 年 9 月並びに平成 28 年 12 月
- 調査対象期間 平成 28 年 9 月調査 (平成 28 年 7 月～9 月)  
平成 28 年 12 月調査 (平成 28 年 10 月～12 月)
- 調査項目 売上額、今期の状況（前年同期比、前期比）、来期の見通し（前年同期比、今期比）、新規設備投資（今期および来期）、経営上の問題点
- 調査企業件数 23 社
- 回答企業数 23 社
- 回答率 100.0%

### <回答企業業種内訳>

小売業	5 社
サービス業	5 社
旅館業	3 社
製造業	5 社
建設業	5 社

### [注]

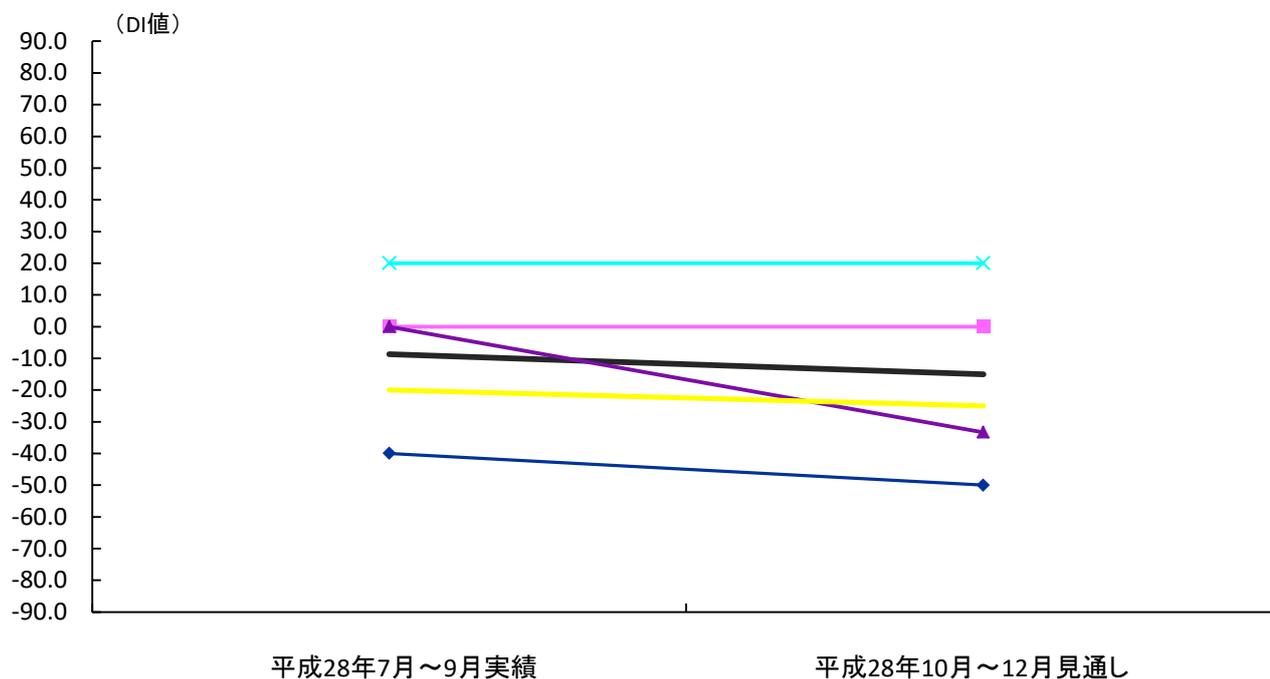
●DI (Diffusion Index 《ディフュージョンインデックスの略。ディーアイ。》)

増加、上昇などと回答した企業の企業割合から、減少、低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。0 を基準として、それより上である場合は、上向き傾向を表す回答が多いことを示し、下である場合は、下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

# 平成 28 年 9 月調査結果

業況 DI

建設業は堅調であったものの、小売業および製造業は水面下となった。来期は、旅館業で大幅に落ち込む見込みのほか、小売業と製造業も低迷する見通し。



— 全体    — 小売業    — サービス業    — 旅館業    — 製造業    — 建設業

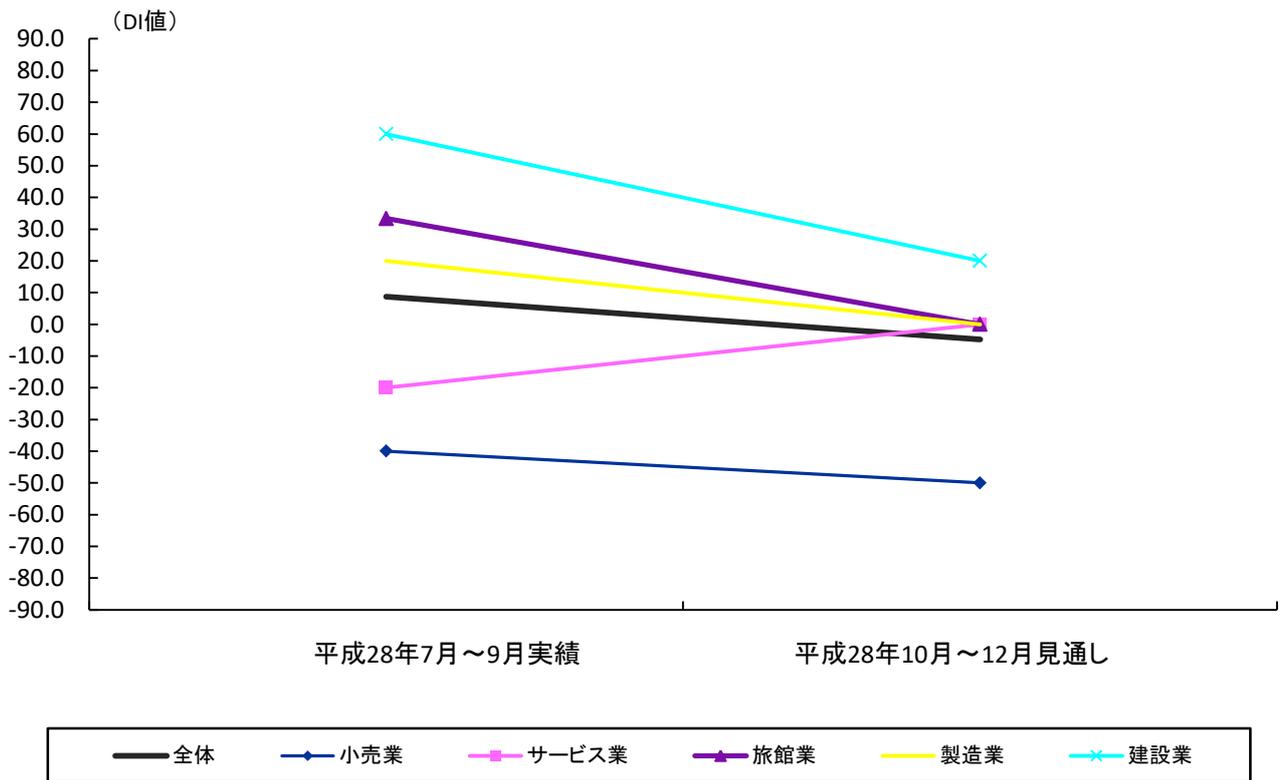
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月見通し
全体	-8.7	-15.0
小売業	-40.0	-50.0
サービス業	0.0	0.0
旅館業	0.0	-33.3
製造業	-20.0	-25.0
建設業	20.0	20.0

今期（平成28年7月～9月）の全体の業況DIは $\Delta 8.7$ となった。業種別では、建設業（20）が唯一プラスであったが、サービス業および旅館業（ともに0）は変動がなく、小売業（ $\Delta 40$ ）および製造業（ $\Delta 20$ ）は厳しい業況となった。

来期（平成28年10月～12月）見通しは、建設業（20→20）で今期並の良好感が続き、サービス業（0→0）は現状と変動なく推移するとみられている。一方、旅館業（0→ $\Delta 33.3$ ）は大きく悪化に転じ、小売業（ $\Delta 40 \rightarrow \Delta 50$ ）および製造業（ $\Delta 20 \rightarrow \Delta 25$ ）では深刻さが増す見通しとなっている。

## 売上額（売上高・加工高・完成工事高）DI

建設業、旅館業および製造業で増加した一方で、サービス業および小売業で減少した。来期見通しは、サービス業で回復するものの、その他の業種では今期に比べ減少する見込み。



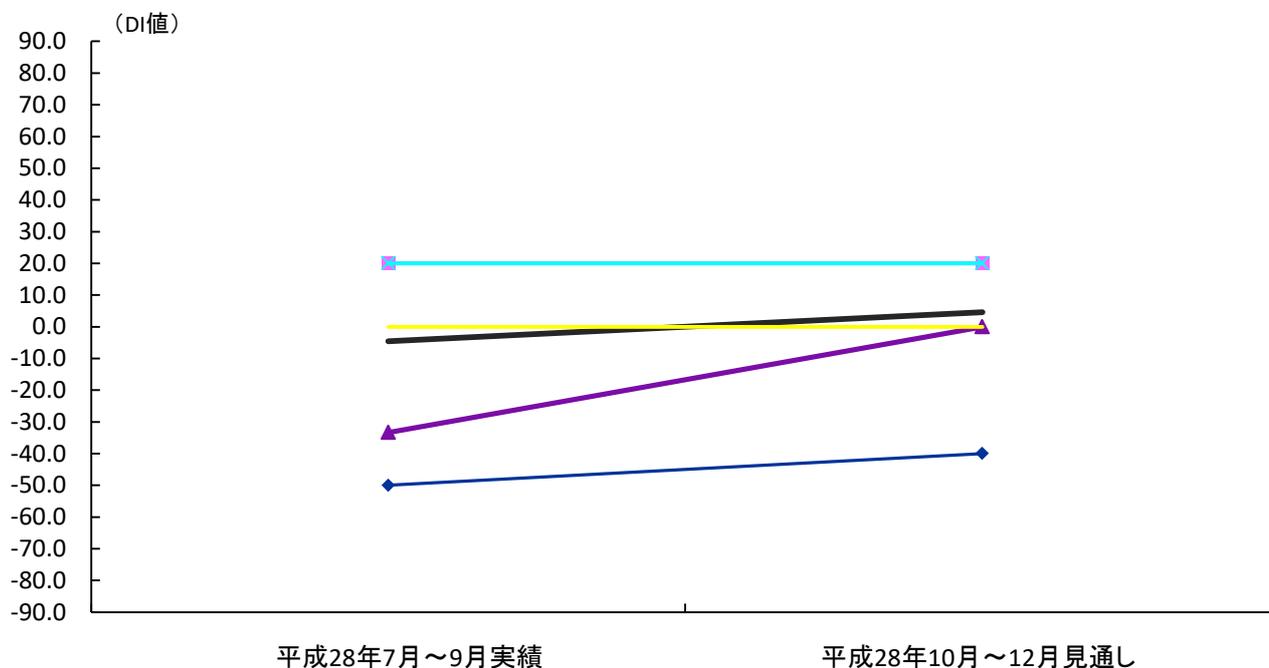
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月見通し
全体	8.7	-4.8
小売業	-40.0	-50.0
サービス業	-20.0	0.0
旅館業	33.3	0.0
製造業	20.0	0.0
建設業	60.0	20.0

今期（平成28年7月～9月）の全体の売上額DIは8.7となった。旅館業（33.3）、製造業（20）および建設業（60）はいずれも好調となったが、小売業（△40）およびサービス業（△20）は大きく落ち込んだ。

来期（平成28年10月～12月）見通しは、建設業（60→20）で大きく増加幅が縮小し、旅館業（33.3→0）および製造業（20→0）では伸び悩みが見込まれる。小売業（△40→△50）は低迷が続く一方、サービス業（△20→0）は水面下から浮上する見通しとなっている。

## 売上単価（客単価・加工単価・受注額）DI

小売業および旅館業で大きく減少した。来期見通しは、旅館業で大きく改善するほか、小売業でも減少に歯止めがかかると見込んでいる。



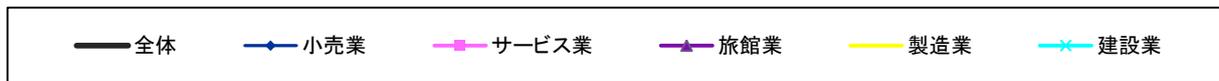
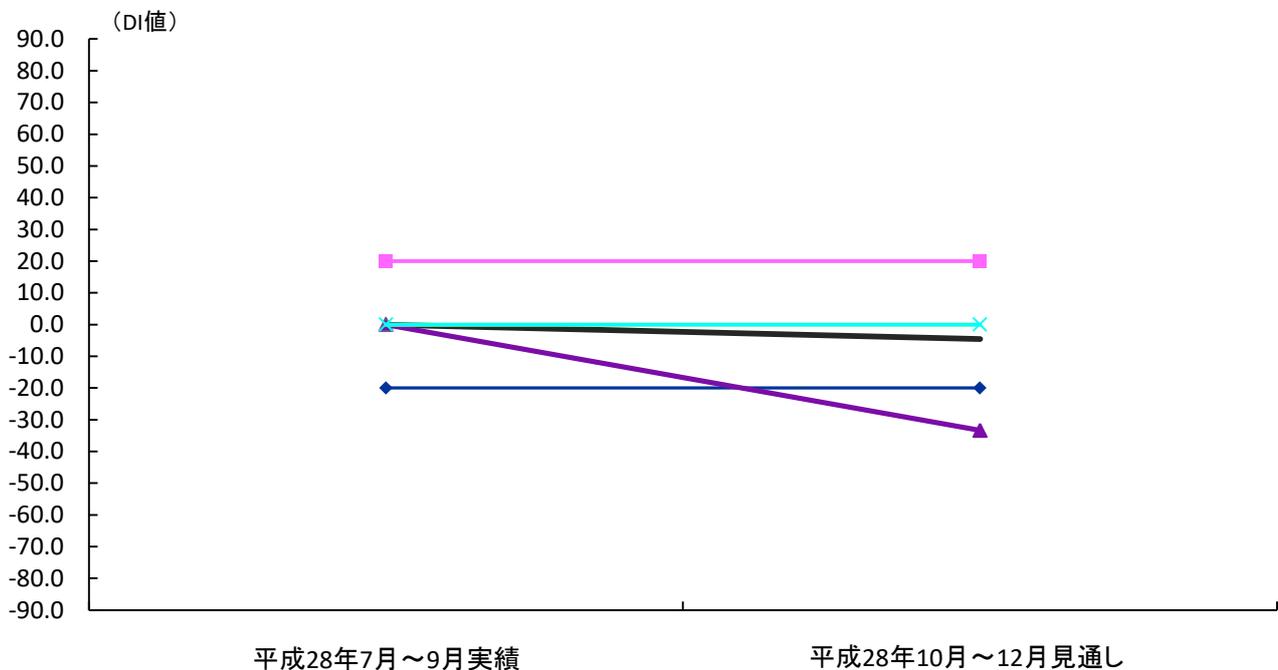
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月見通し
全体	-4.5	4.5
小売業	-50.0	-40.0
サービス業	20.0	20.0
旅館業	-33.3	0.0
製造業	0.0	0.0
建設業	20.0	20.0

今期（平成28年7月～9月）の全体の売上単価DIは $\Delta 4.5$ となった。建設業およびサービス業（ともに20）で増加傾向となったほか、製造業（0）は横ばいで推移したが、小売業（ $\Delta 50$ ）と旅館業（ $\Delta 33.3$ ）では大きく減少した。

来期（平成28年10月～12月）見通しは、旅館業（ $\Delta 33.3 \rightarrow 0$ ）で回復が見込まれるほか、小売業（ $\Delta 50 \rightarrow \Delta 40$ ）でも下降傾向が一服するとみられる。それ以外の業種は、今期並で推移する見込みとなっている。

# 人手 DI

サービス業で増加した一方で、小売業で減少した。来期は、旅館業で不足感が増す見通しながら、その他の業種では大きな変動なく推移すると見込まれている。



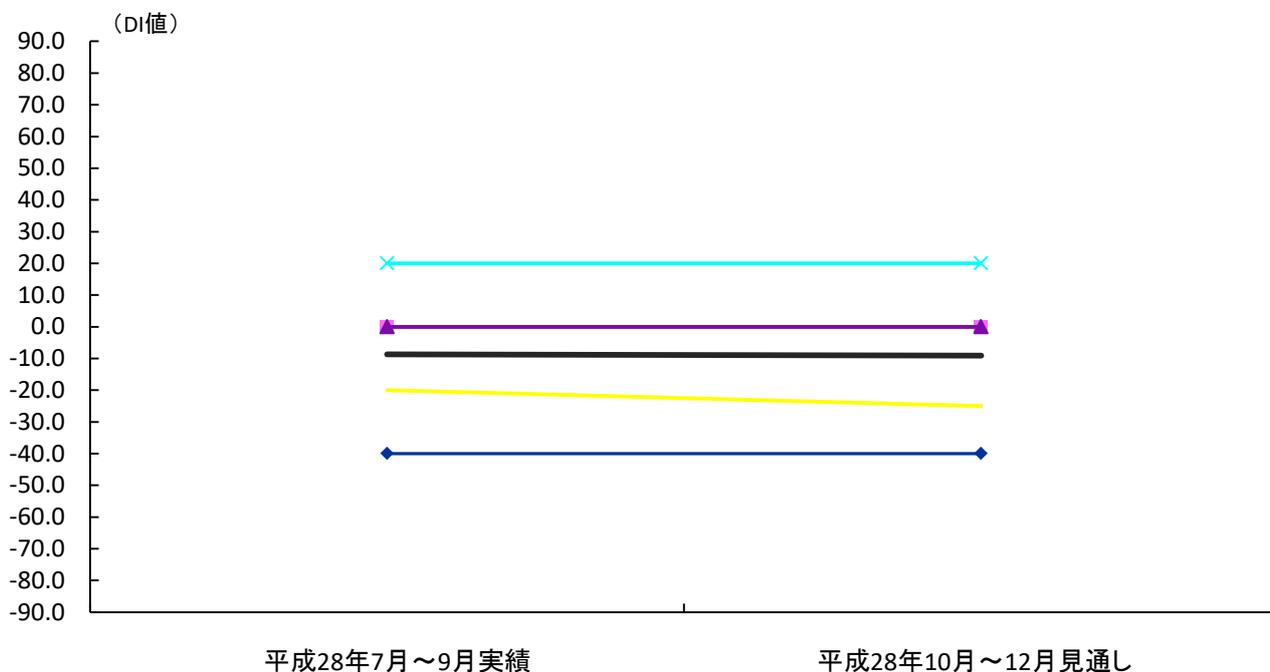
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月見通し
全体	0.0	-4.5
小売業	-20.0	-20.0
サービス業	20.0	20.0
旅館業	0.0	-33.3
製造業	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0

今期（平成28年7月～9月）の全体の人手DIは0.0となった。業種別にみると、サービス業（20）で増加がみられた一方で、小売業（ $\Delta 20$ ）は減少となった。その他の旅館業（0）、製造業（0）および建設業（0）では、いずれも過不足感に変化はない。

来期（平成28年10月～12月）見通しは、旅館業（ $0 \rightarrow \Delta 33.3$ ）で大きく減少に転じる見込みとなっている。また、小売業（ $\Delta 20 \rightarrow \Delta 20$ ）では引き続き不足感が続くものの、製造業および建設業（ともに  $0 \rightarrow 0$ ）は同水準で推移し、サービス業（ $20 \rightarrow 20$ ）は変わらず増加基調で推移すると見込まれている。

## 資金繰り DI

建設業で余裕がみられたが、小売業と製造業では厳しい状況となった。来期は、いずれの業種でも大きな変動はみられず、小売業と製造業では依然厳しい状況が続く見通し。



	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月見通し
全体	-8.7	-9.1
小売業	-40.0	-40.0
サービス業	0.0	0.0
旅館業	0.0	0.0
製造業	-20.0	-25.0
建設業	20.0	20.0

今期（平成28年7月～9月）の全体の資金繰りDIは $\Delta 8.7$ となった。業種別にみると、建設業（20）で改善したものの、小売業（ $\Delta 40$ ）および製造業（ $\Delta 20$ ）では厳しく、サービス業および旅館業（ともに0）では変化がみられなかった。

来期（平成28年10月～12月）見通しは、小売業（ $\Delta 40 \rightarrow \Delta 40$ ）で今期同様の厳しさが続く見込みとなっており、製造業（ $\Delta 20 \rightarrow \Delta 25$ ）では窮屈感がやや強まるとみられる。サービス業および旅館業（ともに0 $\rightarrow$ 0）は今期同様変わらず、建設業（20 $\rightarrow$ 20）は今期並の容易さが続く見通しとなっている。

## 経営上の問題点

### 【小売業】

平成28年7月～9月期		
1位	購買力の他地域への流出	100.0%
2位	消費者ニーズの変化への対応 需要の停滞	60.0%
3位	仕入単価の上昇	40.0%

小売業における経営上の問題点としては、「購買力の他地域への流出」が100%で1位、「消費者ニーズの変化への対応」および「需要の停滞」がともに60%で2位となった。3位には「仕入単価の上昇」40%が挙げられた。

### 【サービス業】

平成28年7月～9月期		
1位	需要の停滞 利用者ニーズの変化への対応	60.0%
2位	利用料金の低下・上昇難 店舗施設の狭隘・老朽化	40.0%
3位	大企業の進出による競争の激化 新規参入業者の増加 材料等仕入単価の上昇 従業員の確保難 熟練技術者の確保難	20.0%

サービス業における経営上の問題点の上位には、「需要の停滞」および「利用者ニーズの変化への対応」が同率の60%で1位、続いて「利用料金の低下・上昇難」および「店舗施設の狭隘・老朽化」が同じく同率の40%で2位となり、3位には「大企業の進出による競争の激化」ほか4項目が同率の20%となった。

## 【旅館業】

平成28年7月～9月期		
1位	従業員の確保難	100.0%
2位	利用料金の低下・上昇難	66.7%
3位	利用者ニーズの変化への対応 人件費の増加 材料等仕入単価の上昇 需要の停滞	33.3%

旅館業における経営上の問題点は、「従業員の確保難」が100%となり、次いで「利用料金の低下・上昇難」が66.7%、「利用者ニーズの変化への対応」「人件費の増加」「材料等仕入単価の上昇」および「需要の停滞」が同率の33.3%となった。

## 【製造業】

平成28年7月～9月期		
1位	生産設備の不足・老朽化 製品ニーズの変化への対応	80.0%
2位	製品(加工)単価の低下・上昇難	60.0%
3位	人件費の増加 取引条件の悪化 従業員の確保難 需要の停滞	20.0%

製造業における経営上の問題点としては、「生産設備の不足・老朽化」「製品ニーズの変化への対応」が同率の80%で1位となり、次いで「製品（加工）単価の低下・上昇難」が60%で2位となった。また、「人件費の増加」「取引条件の悪化」「従業員の確保難」「需要の停滞」が同率の20%で3位に続いた。

**【建設業】**

平成28年7月～9月期		
1位	民間需要の停滞	100.0%
2位	大企業の進出による競争の激化	80.0%
3位	下請業者の確保難	60.0%

建設業における経営上の問題点の上位3項目は、「民間需要の停滞」が100%で1位、次いで「大企業の進出による競争の激化」が80%で2位、および「下請業者の確保難」が60%で3位となった。そのほかには、「取引条件の悪化」「従業員の確保難」「官公需要の停滞」が問題点として挙げられた。

## 参考：集計表

### 質問 1. 売上額

#### 平均金額売上額推移

(千円)

	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月
小売業	2,210	2,529	2,781	2,321
サービス業	2,629	2,473	2,135	2,310
旅館業	8,748	10,216	23,167	11,000
製造業	7,641	7,276	6,629	6,560
建設業	23,671	24,542	24,800	24,800

## 質問 2. I. 今期の状況

### ①前年同期に比べて

#### ○売上額（売上高・加工高・完成工事高）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計増加	不変	減少
全体		23	8	9	6
		100.0	34.8	39.1	26.1
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	1	2	2
		100.0	20.0	40.0	40.0
	旅館業	3	2	0	1
		100.0	66.7	0.0	33.3
	製造業	5	2	2	1
	100.0	40.0	40.0	20.0	
建設業	5	3	2	0	
	100.0	60.0	40.0	0.0	

#### ○売上単価（客単価・加工単価・受注額）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計上昇	不変	低下
全体		22	3	15	4
		100.0	13.6	68.2	18.2
業種別	小売業	4	0	2	2
		100.0	0.0	50.0	50.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	0	2
		100.0	33.3	0.0	66.7
	製造業	5	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

#### ○仕入単価（商品仕入・材料仕入）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計上昇	不変	低下
全体		23	6	17	0
		100.0	26.1	73.9	0.0
業種別	小売業	5	3	2	0
		100.0	60.0	40.0	0.0
	サービス業	5	2	3	0
		100.0	40.0	0.6	0.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	5	1	4	0
	100.0	20.0	80.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

#### ○従業員（含臨時・パート）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計増加	不変	減少
全体		23	2	19	2
		100.0	8.7	82.6	8.7
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	5	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

#### ○外部人材（請負・派遣）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計増加	不変	減少
全体		22	1	20	1
		100.0	4.5	90.9	4.5
業種別	小売業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

#### ○採算（経常利益）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計好転	不変	悪化
全体		23	2	17	4
		100.0	8.7	73.9	17.4
業種別	小売業	5	0	2	3
		100.0	0.0	40.0	60.0
	サービス業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	5	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

#### ○資金繰り

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計好転	不変	悪化
全体		23	1	19	3
		100.0	4.3	82.6	13.0
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	5	0	4	1
	100.0	0.0	80.0	20.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

#### ○業況（自社）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計好転	不変	悪化
全体		23	3	15	5
		100.0	13.0	65.2	21.7
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	5	0	4	1
	100.0	0.0	80.0	20.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

②前期に比べて

○売上額（売上高・加工高・完成工事高）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	増加	不変	減少
全体	22		4	10	8
	100.0		18.2	45.5	36.4
業種別	小売業	4	1	1	2
		100.0	25.0	25.0	50.0
	サービス業	5	0	2	3
		100.0	0.0	40.0	60.0
	旅館業	3	3	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	製造業	5	0	2	3
	100.0	0.0	40.0	60.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

○資金繰り

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	好転	不変	悪化
全体	23		1	19	3
	100.0		4.3	82.6	13.0
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	2	0
		100.0	33.3	66.7	0.0
	製造業	5	0	4	1
	100.0	0.0	80.0	20.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

○業況（自社）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	好転	不変	悪化
全体	23		2	16	5
	100.0		8.7	69.6	21.7
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	旅館業	3	2	1	0
		100.0	66.7	33.3	0.0
	製造業	5	0	3	2
	100.0	0.0	60.0	40.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

○長期資金借入難度

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	容易	不変	困難
全体	22		5	15	2
	100.0		22.7	68.2	9.1
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

○短期資金借入難度（含手形割引）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	容易	不変	困難
全体	22		7	13	2
	100.0		31.8	59.1	9.1
業種別	小売業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

○借入金利

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	上昇	不変	低下
全体	22		0	20	2
	100.0		0.0	90.9	9.1
業種別	小売業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
	製造業	4	0	3	1
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

## 質問 2. II. 来期の見通し

### ①前年同期と比べた来期の見通し

#### ○売上額（売上高・加工高・完成工事高）

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計増加	不変	減少	
全体	21	3	14	4	
	100.0	14.3	66.7	19.0	
業種別	小売業	4	0	2	2
		100.0	0.0	50.0	50.0
	サービス業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

#### ○売上単価（客単価・加工単価・受注額）

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計上昇	不変	低下	
全体	22	4	15	3	
	100.0	18.2	68.2	13.6	
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	2	3	0	
	100.0	40.0	60.0	0.0	

#### ○仕入単価（商品仕入・材料仕入）

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計上昇	不変	低下	
全体	22	5	16	1	
	100.0	22.7	72.7	4.5	
業種別	小売業	5	3	2	0
		100.0	60.0	40.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	1	3	0
	100.0	25.0	75.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

#### ○従業員（含臨時・パート）

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計増加	不変	減少	
全体	22	1	19	2	
	100.0	4.5	86.4	9.1	
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

#### ○外部人材（請負・派遣）

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計増加	不変	減少	
全体	21	1	19	1	
	100.0	4.8	90.5	4.8	
業種別	小売業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	3	0	3	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

#### ○採算（経常利益）

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計好転	不変	悪化	
全体	22	2	15	5	
	100.0	9.1	68.2	22.7	
業種別	小売業	5	0	2	3
		100.0	0.0	40.0	60.0
	サービス業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

#### ○資金繰り

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計好転	不変	悪化	
全体	22	1	18	3	
	100.0	4.5	81.8	13.6	
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	4	0	3	1
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

#### ○業況（自社）

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計好転	不変	悪化	
全体	20	2	13	5	
	100.0	10.0	65.0	25.0	
業種別	小売業	4	0	2	2
		100.0	0.0	50.0	50.0
	サービス業	4	1	2	1
		100.0	25.0	50.0	25.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
	製造業	4	0	3	1
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

②今期と比べた来期の見通し

○業況（自社）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	好転	不変	悪化
全体	22	2	15	5	
	100.0	9.1	68.2	22.7	
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0.0	4.0	1.0
		100.0	0.0	80.0	20.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	0	3	1
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

○長期資金借入難度

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	容易	不変	困難
全体	21	5	12	4	
	100.0	23.8	57.1	19.0	
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	3	0	3	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

○短期資金借入難度（含手形割引）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	容易	不変	困難
全体	21	6	13	2	
	100.0	28.6	61.9	9.5	
業種別	小売業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	3	0	3	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

○借入金利

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	上昇	不変	低下
全体	21	0	19	2	
	100.0	0.0	90.5	9.5	
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
	製造業	3	0	3	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

### ③ 今期の水準

#### ○ 業況

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	良い	ふつう	悪い
全体		23	3	15	5	
		100.0	13.0	65.2	21.7	
業 種 別	小売業	5	0	4	1	
		100.0	0.0	80.0	20.0	
	サービス業	5	1	3	1	
		100.0	20.0	60.0	20.0	
	旅館業	3	0	2	1	
		100.0	0.0	66.7	33.3	
	製造業	5	1	2	2	
	100.0	20.0	40.0	40.0		
建設業	5	1	4	0		
	100.0	20.0	80.0	0.0		

#### ○ 採算（経常利益）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	黒字	収支トントン	赤字
全体		23	4	14	5	
		100.0	17.4	60.9	21.7	
業 種 別	小売業	5	0	3	2	
		100.0	0.0	60.0	40.0	
	サービス業	5	1	3	1	
		100.0	20.0	60.0	20.0	
	旅館業	3	1	1	1	
		100.0	33.3	33.3	33.3	
	製造業	5	1	3	1	
	100.0	20.0	60.0	20.0		
建設業	5	1	4	0		
	100.0	20.0	80.0	0.0		

#### ○ 従業員（含臨時・パート）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	過剰	適正	不足
全体		22	0	18	4	
		100.0	0.0	81.8	18.2	
業 種 別	小売業	4	0	4	0	
		100.0	0.0	100.0	0.0	
	サービス業	5	0	4	1	
		100.0	0.0	80.0	20.0	
	旅館業	3	0	1	2	
		100.0	0.0	33.3	66.7	
	製造業	5	0	4	1	
	100.0	0.0	80.0	20.0		
建設業	5	0	5	0		
	100.0	0.0	100.0	0.0		

### 質問3. 今期および来期の新規設備投資

#### I. 今期

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計	実施していない	土地	建物・店舗	設備・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
全体	22		20	0	1	1	0	0	0	0	0
	100.0		90.9	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業 種 別	小売業	4		4	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	5		4	0	0	1	0	0	0	0
		100.0		80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	旅館業	3		3	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	5		4	0	1	0	0	0	0	0
		100.0		80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	5		5	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

#### II. 来期

(上段：件、下段：%)

	回答件数	計	計画していない	土地	建物・店舗	設備・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
全体	22		22	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業 種 別	小売業	4		4	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	5		5	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	旅館業	3		3	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	5		5	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	5		5	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

## 質問4. 経営上の問題点

### ○小売業

(上段：件、下段：%)

大企業・中堅店の進出による競争の激化	同業者の進出	購買力の他地域への流出	消費者ニーズの変化への対応	店舗の狭隘・老朽化	駐車場の確保	商品在庫の過剰	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	販売単価の低下・上昇	仕入単価の上昇	金利負担の増加	代金回収の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
1	0	5	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0
20.0	0.0	100.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0

### ○サービス業

(上段：件、下段：%)

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	利用料金の低下・上昇	材料等仕入単価の上昇	金利負担の増加	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
1	1	3	2	0	0	2	1	0	0	1	1	3	0	0
20.0	20.0	60.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0

### ○旅館業

(上段：件、下段：%)

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	利用料金の低下・上昇	材料等仕入単価の上昇	金利負担の増加	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
0	0	1	0	1	0	2	1	0	0	3	0	1	0	0
0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0

### ○製造業

(上段：件、下段：%)

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	製品ニーズの変化への対応	生産設備の不足・老朽化	生産設備の過剰	原材料価格の上昇	原材料の不足	人件費の増加	原材料費・人件費以外の経費の増加	製品(加工)単価の低下・上昇	金利負担の増加	取引条件の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない	
0	0	4	4	0	0	0	1	0	3	0	1	0	1	0	0	1	0	
0.0	0.0	80.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0

### ○建設業

(上段：件、下段：%)

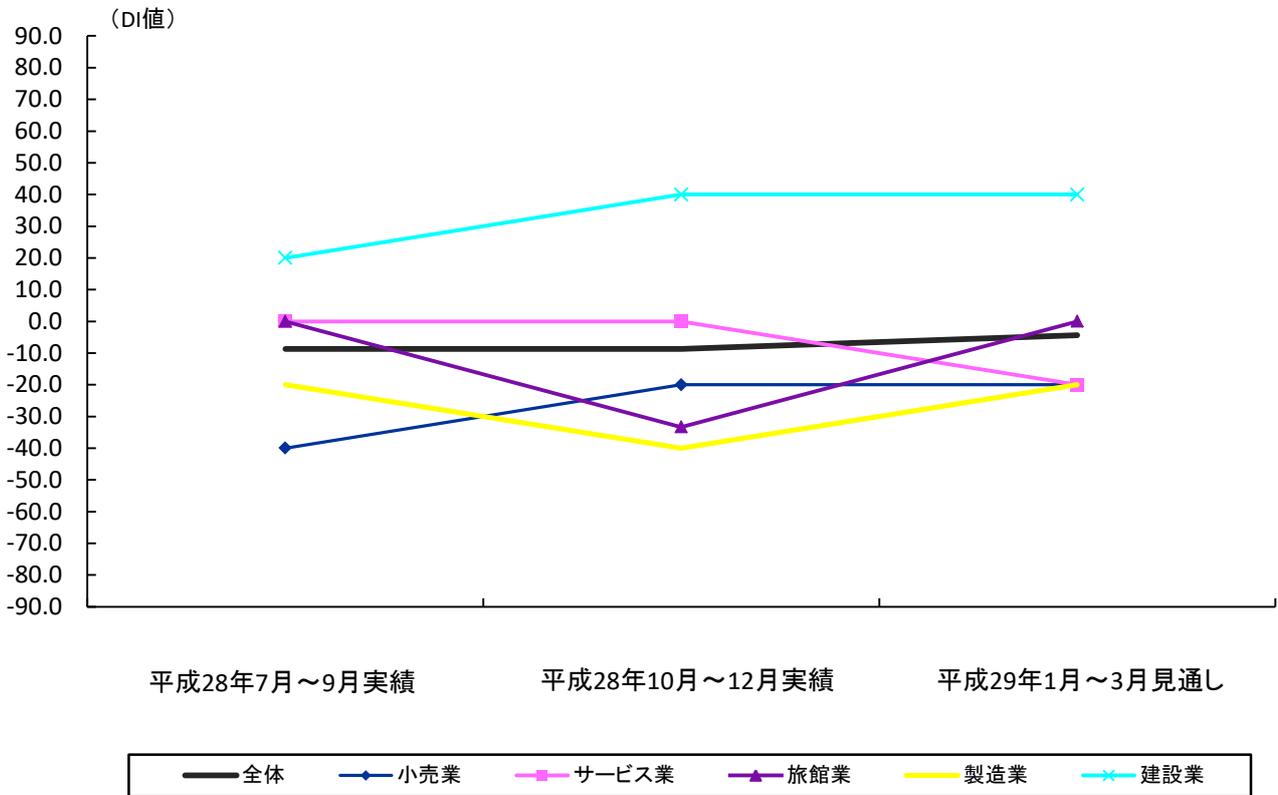
大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	材料価格の上昇	材料の入手難	人件費の増加	材料費・人件費以外の経費の増加	請負単価の低下・上昇	下請け価格の上昇	金利負担の増加	取引条件の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	下請業者の確保	官公需要の停滞	民間需要の停滞	その他	特に問題はない
4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	1	5	0	0
80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0	100.0	0.0	0.0

## 質問5. 質問2の業況に関する自由コメント

- ・景気がいいとか悪いとか、そんなことは関係ない。あくまで自助努力しかないと思う。(建設業)
- ・企業努力されている会社は伸びているようですが、特に個人経営者は、店もきれいでなく売上げが伸びない。せめてお客様によろこんでもらえる店にしたい。(小売業)
- ・猛暑の夏休みとなり、県外のお客様が8月初めより8月終りまでまんべんなく利用が増えた。(旅館業)

# 平成 28 年 12 月調査結果

業況DI  
 旅館業および製造業で悪化した一方で、小売業は横ばいまたは改善となった。来期は、旅館業および製造業が改善を見込むものの、サービス業は悪化の見通しとなっている。



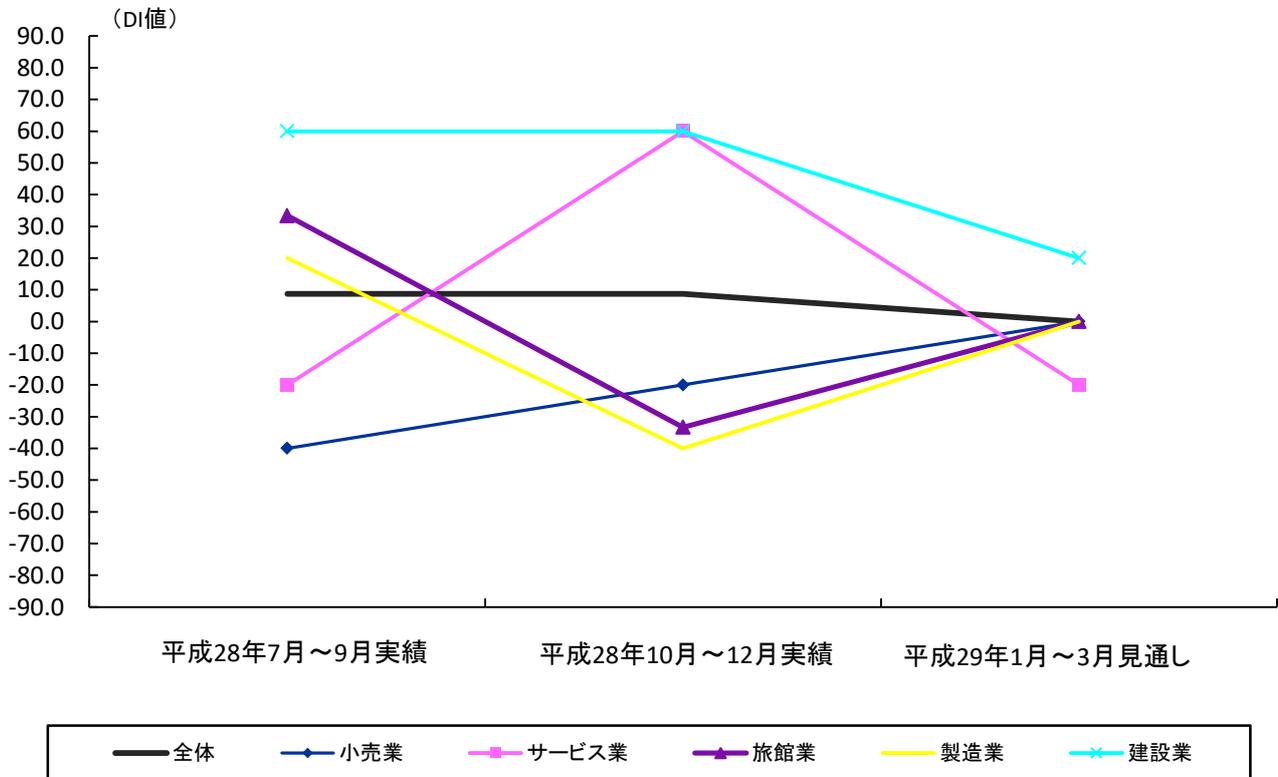
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月実績	平成29年1月～3月見通し
全体	-8.7	-8.7	-4.3
小売業	-40.0	-20.0	-20.0
サービス業	0.0	0.0	-20.0
旅館業	0.0	-33.3	0.0
製造業	-20.0	-40.0	-20.0
建設業	20.0	40.0	40.0

今期（平成28年10月～12月）の全体の業況DIは、前期（平成28年7月～9月）と変わらず、 $\Delta 8.7$ となった。業種別では、旅館業（ $0 \rightarrow \Delta 33.3$ ）および製造業（ $\Delta 20 \rightarrow \Delta 40$ ）が大きく悪化し、小売業（ $\Delta 40 \rightarrow \Delta 20$ ）は依然として水面下ながら大きく持ち直した。サービス業（ $0 \rightarrow 0$ ）は変動がなく、建設業（ $20 \rightarrow 40$ ）は大きく良化した。

来期（平成29年1月～3月）見通しは、旅館業（ $\Delta 33.3 \rightarrow 0$ ）と製造業（ $\Delta 40 \rightarrow \Delta 20$ ）とで大きく改善が見込まれるほか、建設業（ $40 \rightarrow 40$ ）で好況が維持されるとみられている。一方、小売業（ $\Delta 20 \rightarrow \Delta 20$ ）は現状と変動なく推移し、サービス業（ $0 \rightarrow \Delta 20$ ）は悪化に転じる見通しとなっている。

## 売上額（売上高・加工高・完成工事高）DI

旅館業および製造業が大きく水面下に転じた。来期見通しは、サービス業および建設業が減少し、一方で、小売業、旅館業、製造業は増加の見込み。



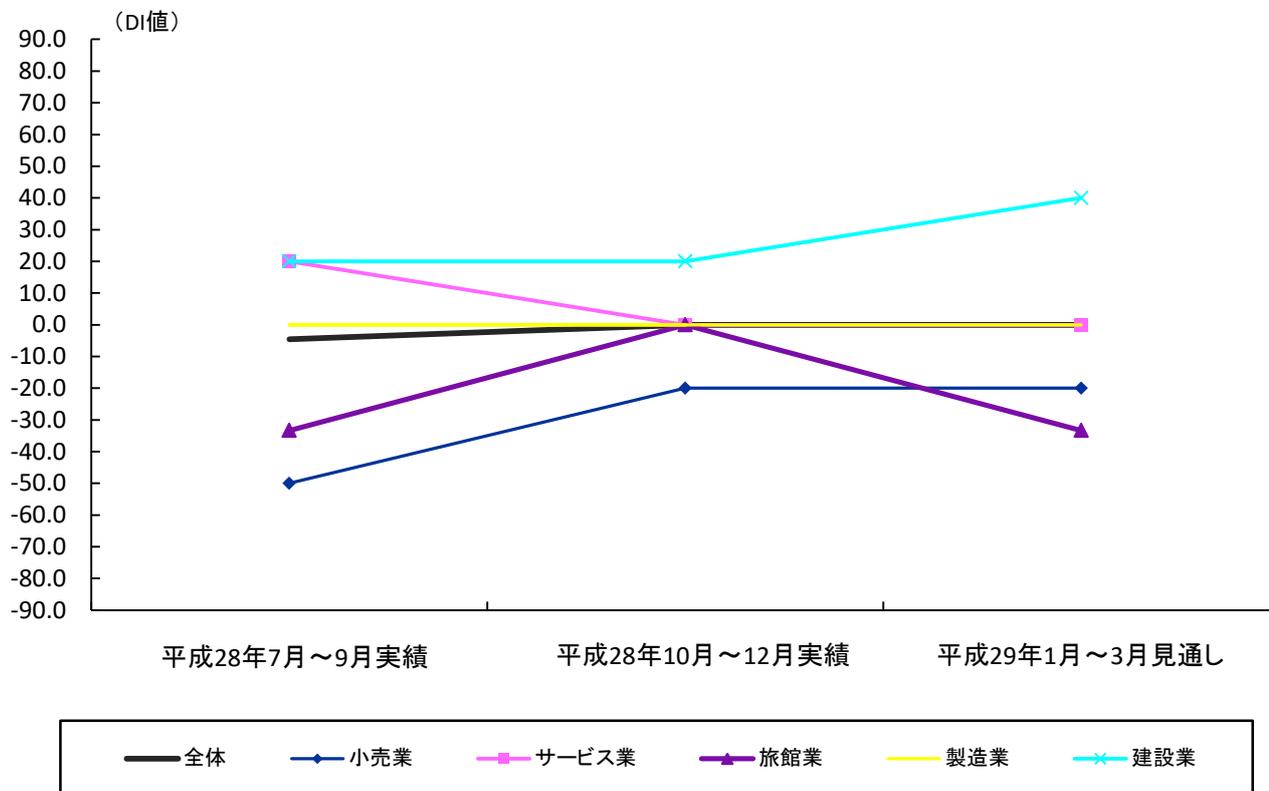
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月実績	平成29年1月～3月見通し
全体	8.7	8.7	0.0
小売業	-40.0	-20.0	0.0
サービス業	-20.0	60.0	-20.0
旅館業	33.3	-33.3	0.0
製造業	20.0	-40.0	0.0
建設業	60.0	60.0	20.0

今期（平成28年10月～12月）の全体の売上額DIは、前期（平成28年7月～9月）と変わらず、8.7となった。旅館業（33.3→△33.3）および製造業（20→△40）はともに大きく減少し、プラスから一気にマイナスに落ち込んだ。小売業（△40→△20）は水面下ながら大きく持ち直し、サービス業（△20→60）はマイナスからプラスに極端に転じた。他業種が大きく変動する中、建設業は好調を維持した。

来期（平成29年1月～3月）見通しは、建設業（60→20）とサービス業（60→△20）とで大きく減少が見込まれ、特にサービス業は水面下に落ち込むと見込まれている。一方、小売業（△20→0）は引き続き改善を見込んでおり、旅館業（△33.3→0）と製造業（△40→0）はともに水面下から浮上する見通しとなっている。

## 売上単価（客単価・加工単価・受注額）DI

サービス業を除く全業種で改善、もしくは足踏み状態となった。来期見通しは、建設業以外のすべての業種で横ばい、または悪化を見込んでいる。



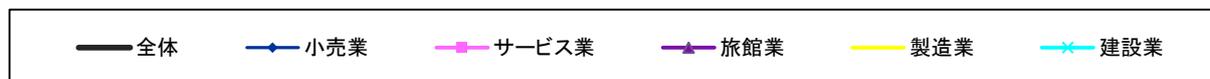
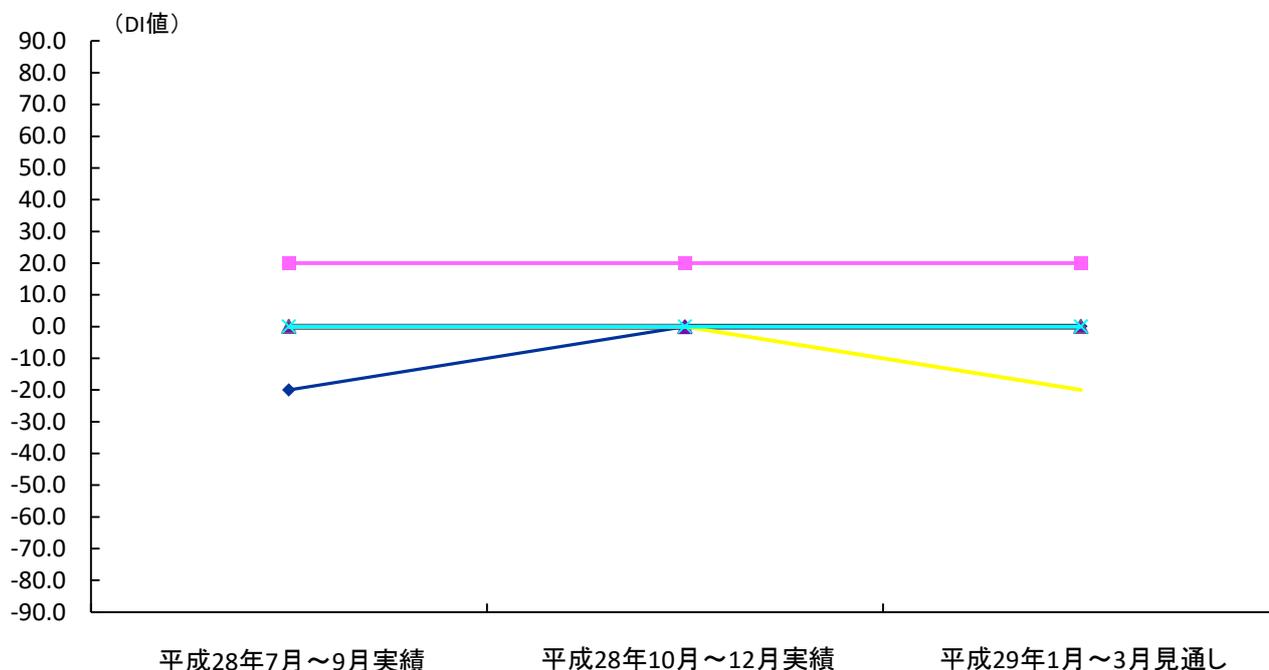
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月実績	平成29年1月～3月見通し
全体	-4.5	0.0	0.0
小売業	-50.0	-20.0	-20.0
サービス業	20.0	0.0	0.0
旅館業	-33.3	0.0	-33.3
製造業	0.0	0.0	0.0
建設業	20.0	20.0	40.0

今期（平成28年10月～12月）の全体の売上単価DIは0.0となった。小売業（△50→△20）と旅館業（△33.3→0）はともに持ち直したが、小売業は依然として水面下での推移となっている。建設業（20→20）が現状を維持したほかは、製造業（0→0）は横ばいで推移し、サービス業（20→0）は悪化に転じた。

来期（平成29年1月～3月）見通しは、建設業（20→40）で増加が見込まれるものの、旅館業は再度大きく悪化に転じる見通しとなったほか、それ以外の業種では今期並で推移する見込みとなっている。

# 人手 DI

全体的に横ばいとなったが、小売業で不足感が和らぎ、サービス業は安定した推移となっている。来期は、製造業で不足感が増す見通しながら、その他の業種では変動なく推移すると見込まれている。



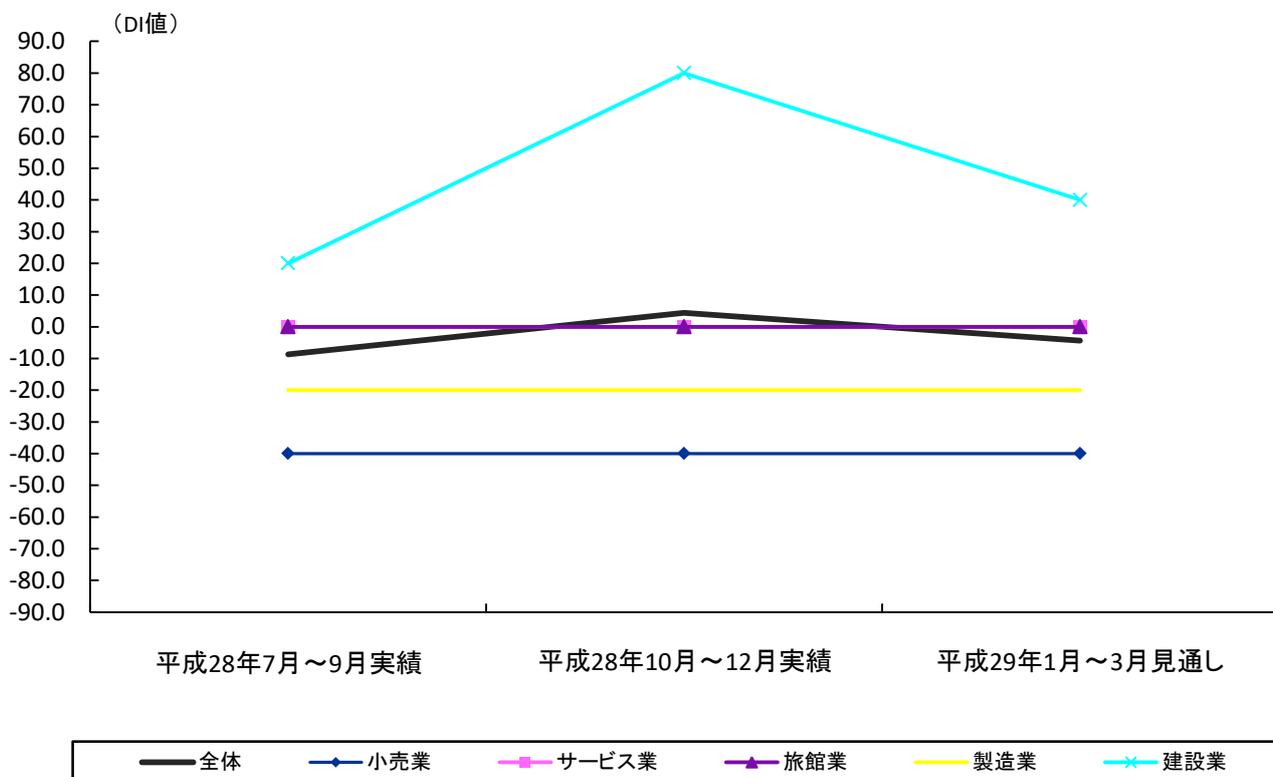
	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月実績	平成29年1月～3月見通し
全体	0.0	0.0	0.0
小売業	-20.0	0.0	0.0
サービス業	20.0	20.0	20.0
旅館業	0.0	0.0	0.0
製造業	0.0	0.0	-20.0
建設業	0.0	0.0	0.0

今期（平成28年10月～12月）の全体の人手DIは0.0となった。業種別にみると、小売業（ $\Delta 20 \rightarrow 0$ ）で改善がみられたほか、旅館業（ $0 \rightarrow 0$ ）、製造業（ $0 \rightarrow 0$ ）および建設業（ $0 \rightarrow 0$ ）ではいずれも過不足感に変化はなく、サービス業（ $20 \rightarrow 20$ ）でも安定した推移となっている。

来期（平成29年1月～3月）見通しは、製造業（ $0 \rightarrow \Delta 20$ ）で減少に転じることが見込まれるものの、小売業（ $0 \rightarrow 0$ ）、旅館業（ $0 \rightarrow 0$ ）、建設業（ $0 \rightarrow 0$ ）は同水準で推移し、サービス業（ $20 \rightarrow 20$ ）は変わらず安定的に推移するものと見込まれている。

## 資金繰り DI

建設業で非常に大きく好調感を強めたが、小売業と製造業では厳しい状況が続いた。来期も建設業以外では大きな変動はみられず、小売業と製造業では依然厳しい状況が続く見通し。



	平成28年7月～9月実績	平成28年10月～12月実績	平成29年1月～3月見通し
全体	-8.7	4.3	-4.3
小売業	-40.0	-40.0	-40.0
サービス業	0.0	0.0	0.0
旅館業	0.0	0.0	0.0
製造業	-20.0	-20.0	-20.0
建設業	20.0	80.0	40.0

今期（平成28年10月～12月）の全体の資金繰りDIは4.3と好転した。業種別にみると、建設業（20→80）で大きく改善したものの、小売業（△40→△40）および製造業（△20→△20）では厳しい状況が続き、サービス業および旅館業（ともに0→0）では変化がみられなかった。

来期（平成29年1月～3月）見通しは、小売業（△40→△40）および製造業（△20→△20）で今期同様の厳しさが続く見込みとなっている。サービス業および旅館業（ともに0→0）はこれまで同様の落ち着いた状況での推移が続くと見込まれ、建設業（80→40）は今期よりは容易さが縮小すると見込んでいる。

## 経営上の問題点

### 【小売業】

	前期(平成28年7月～9月期)		今期(平成28年10月～12月期)	
1位	購買力の他地域への流出	100.0%	需要の停滞	100.0%
2位	消費者ニーズの変化への対応 需要の停滞	60.0%	消費者ニーズの変化への対応	60.0%
3位	仕入単価の上昇	40.0%	大型店・中型店の進出による競争の激化 購買力の他地域への流出 仕入単価の上昇	40.0%

前期の小売業における経営上の問題点としては、「購買力の他地域への流出」が100%で1位、「消費者ニーズの変化への対応」および「需要の停滞」がともに60%で2位となった。3位には「仕入単価の上昇」40%が挙げられた。

一方、今期においては、「需要の停滞」が100%で1位、次いで「消費者ニーズの変化への対応」が60%で2位となった。また、「大型店・中型店の進出による競争の激化」「購買力の他地域への流出」「仕入単価の上昇」が40%で同率3位に挙げられた。

前期および今期を俯瞰すると、「需要の停滞」および「消費者ニーズの変化への対応」が共通の懸念事項として挙げられているほか、「購買力の他地域への流出」や「仕入単価の上昇」も引き続き問題となっていることがうかがわれる。

### 【サービス業】

	前期(平成28年7月～9月期)		今期(平成28年10月～12月期)	
1位	需要の停滞 利用者ニーズの変化への対応	60.0%	利用者ニーズの変化への対応	80.0%
2位	利用料金の低下・上昇難 店舗施設の狭隘・老朽化	40.0%	店舗施設の狭隘・老朽化	60.0%
3位	大企業の進出による競争の激化 新規参入業者の増加 材料等仕入単価の上昇 従業員の確保難 熟練技術者の確保難	20.0%	材料等仕入単価の上昇 需要の停滞	40.0%

サービス業で前期に挙げられた問題点は、「需要の停滞」「利用者ニーズの変化への対応」が同率の60%で1位、続いて「利用料金の低下・上昇難」「店舗施設の狭隘・老朽化」が同じく同率の40%で2位となり、3位には「大企業の進出による競争の激化」ほか4項目が同率の20%となった。

一方、今期の上位3項目は、1位は「利用者ニーズの変化への対応」で80%、2位は「店舗施設の狭隘・老朽化」で60%、3位は「材料等仕入単価の上昇」および「需要の停滞」が同率の40%とな

っている。

前期と今期とでは、項目順位および構成比率で若干の違いがみられるが、全体的にはほぼ同様の問題認識状況にある。

### 【旅館業】

	前期(平成28年7月～9月期)		今期(平成28年10月～12月期)	
1位	従業員の確保難	100.0%	従業員の確保難	100.0%
2位	利用料金の低下・上昇難	66.7%	利用料金の低下・上昇難 材料等仕入単価の上昇	66.7%
3位	利用者ニーズの変化への対応 人件費の増加 材料等仕入単価の上昇 需要の停滞	33.3%	店舗施設の狭隘・老朽化 需要の停滞	33.3%

旅館業の前期の上位3項目は、「従業員の確保難」が100%となり、次いで「利用料金の低下・上昇難」が66.7%、「利用者ニーズの変化への対応」「人件費の増加」「材料等仕入単価の上昇」および「需要の停滞」が同率の33.3%となった。

今期においても「従業員の確保難」が100%で1位となり、「利用料金の低下・上昇難」および「材料等仕入単価の上昇」が66.7%で2位となっている。また、3位には「店舗施設の狭隘・老朽化」および「需要の停滞」がそれぞれ33.3%で挙げられた。

「従業員の確保難」が前期および今期に共通したが顕著な問題となっていることがうかがわれるほか、「利用料金の低下・上昇難」および「材料等仕入単価の上昇」も、継続的な問題となっている。

### 【製造業】

	前期(平成28年7月～9月期)		今期(平成28年10月～12月期)	
1位	生産設備の不足・老朽化 製品ニーズの変化への対応	80.0%	製品ニーズの変化への対応	80.0%
2位	製品(加工)単価の低下・上昇難	60.0%	生産設備の不足・老朽化 製品(加工)単価の低下・上昇難	60.0%
3位	人件費の増加 取引条件の悪化 従業員の確保難 需要の停滞	20.0%	従業員の確保難	40.0%

前期における製造業の問題点としては、「生産設備の不足・老朽化」「製品ニーズの変化への対応」が同率の80%で1位となり、次いで「製品(加工)単価の低下・上昇難」が60%で2位となった。また、「人件費の増加」「取引条件の悪化」「従業員の確保難」「需要の停滞」が同率の20%で3位に続いた。

一方、今期の上位3項目をみると、第1位は前期と同じく「製品ニーズの変化への対応」で80%、第2位は「生産設備の不足・老朽化」および「製品（加工）単価の低下・上昇難」で60%、第3位には「従業員の確保難」が40%となっている。

前期と今期とでは、項目順位や構成比率で若干の違いがみられるが、全体的な問題認識状況はほとんど変化していない。

### 【建設業】

	前期（平成28年7月～9月期）		今期（平成28年10月～12月期）	
1位	民間需要の停滞	100.0%	民間需要の停滞	100.0%
2位	大企業の進出による競争の激化	80.0%	大企業の進出による競争の激化	80.0%
3位	下請業者の確保難	60.0%	取引条件の悪化	40.0%

建設業での前期に挙げられた上位3項目は、「民間需要の停滞」が100%で1位、次いで「大企業の進出による競争の激化」が80%で2位、および「下請業者の確保難」が60%で3位となった。そのほかには、「取引条件の悪化」「従業員の確保難」「官公需要の停滞」が問題点として挙げられた。

今期の上位3項目をみると、前期1位の「民間需要の停滞」が引き続き100%で1位、前期2位の「大企業の進出による競争の激化」も同様に80%で2位となって、上位2項目に変動はみられない。3位には、前期に4位だった「取引条件の悪化」が40%で入っている。これら以外には「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」「下請業者の確保難」や「官公需要の停滞」が挙がっており、前期との特段の相違はみられない。

## 参考：集計表

### 質問 1. 売上額

#### 平均金額売上額推移（平成 28 年 9 月調査）

（千円）

	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月
小売業	2,210	2,529	2,781	2,321
サービス業	2,629	2,473	2,135	2,310
旅館業	8,748	10,216	23,167	11,000
製造業	7,641	7,276	6,629	6,560
建設業	23,671	24,542	24,800	24,800

#### 平均金額売上額推移（平成 28 年 12 月調査）

（千円）

	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月
小売業	2,288	2,289	2,510	3,340
サービス業	2,408	2,347	2,458	2,087
旅館業	11,453	11,781	15,333	15,433
製造業	6,308	6,527	6,660	6,600
建設業	24,492	26,797	26,800	24,800

質問 2. I. 今期の状況

①前年同期に比べて

<平成 28 年 9 月調査>

<平成 28 年 12 月調査>

○売上額（売上高・加工高・完成工事高）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

		回答件数 計	増加	不変	減少
全体		23	8	9	6
		100.0	34.8	39.1	26.1
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	1	2	2
		100.0	20.0	40.0	40.0
	旅館業	3	2	0	1
		100.0	66.7	0.0	33.3
製造業		5	2	2	1
		100.0	40.0	40.0	20.0
建設業		5	3	2	0
		100.0	60.0	40.0	0.0

		回答件数 計	増加	不変	減少
全体		23	7	11	5
		100.0	30.4	47.8	21.7
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	3	2	0
		100.0	60.0	40.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
製造業		5	1	1	3
		100.0	20.0	20.0	60.0
建設業		5	3	2	0
		100.0	60.0	40.0	0.0

○売上単価（客単価・加工単価・受注額）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		22	3	15	4
		100.0	13.6	68.2	18.2
業種別	小売業	4	0	2	2
		100.0	0.0	50.0	50.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	0	2
		100.0	33.3	0.0	66.7
製造業		5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
建設業		5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		23	1	21	1
		100.0	4.3	91.3	4.3
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
製造業		5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
建設業		5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0

○仕入単価（商品仕入・材料仕入）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		23	6	17	0
		100.0	26.1	73.9	0.0
業種別	小売業	5	3	2	0
		100.0	60.0	40.0	0.0
	サービス業	5	2	3	0
		100.0	40.0	60.0	0.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
製造業		5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
建設業		5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		23	8	15	0
		100.0	34.8	65.2	0.0
業種別	小売業	5	4	1	0
		100.0	80.0	20.0	0.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	2	1	0
		100.0	66.7	33.3	0.0
製造業		5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
建設業		5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0

<平成 28 年 9 月調査>

<平成 28 年 12 月調査>

○従業員（含臨時・パート）

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	増加	不変	減少
全体		23	2	19	2
		100.0	8.7	82.6	8.7
業 種 別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	5	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	増加	不変	減少
全体		23	2	20	1
		100.0	8.7	87.0	4.3
業 種 別	小売業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	5	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

○外部人材（請負・派遣）

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	増加	不変	減少
全体		22	1	20	1
		100.0	4.5	90.9	4.5
業 種 別	小売業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	4	0	4	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	増加	不変	減少
全体		22	1	21	0
		100.0	4.5	95.5	0.0
業 種 別	小売業	4	0	4	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	2	0
		100.0	33.3	66.7	0.0
	製造業	5	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

○採算（経常利益）

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	好転	不変	悪化
全体		23	2	17	4
		100.0	8.7	73.9	17.4
業 種 別	小売業	5	0	2	3
		100.0	0.0	40.0	60.0
	サービス業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	5	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	好転	不変	悪化
全体		23	4	15	4
		100.0	17.4	65.2	17.4
業 種 別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	2	3	0
		100.0	40.0	60.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
	製造業	5	0	4	1
	100.0	0.0	80.0	20.0	
建設業	5	2	3	0	
	100.0	40.0	60.0	0.0	

○資金繰り

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	好転	不変	悪化
全体		23	1	19	3
		100.0	4.3	82.6	13.0
業 種 別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	5	0	4	1
	100.0	0.0	80.0	20.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	好転	不変	悪化
全体		23	4	16	3
		100.0	17.4	69.6	13.0
業 種 別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	5	0	4	1
	100.0	0.0	80.0	20.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

<平成 28 年 9 月調査>

○業況（自社）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	好転	不変	悪化
全体	23		3	15	5
	100.0		13.0	65.2	21.7
業 種 別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
	製造業	5	0	4	1
	100.0	0.0	80.0	20.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

<平成 28 年 12 月調査>

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	好転	不変	悪化
全体	23		2	17	4
	100.0		8.7	73.9	17.4
業 種 別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
	製造業	5	0	3	2
	100.0	0.0	60.0	40.0	
建設業	5	2	3	0	
	100.0	40.0	60.0	0.0	

②前期に比べて

<平成 28 年 9 月調査>

○売上額（売上高・加工高・完成工事高）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	増加	不変	減少
全体		22		4	10	8
		100.0		18.2	45.5	36.4
業種別	小売業	4		1	1	2
		100.0		25.0	25.0	50.0
	サービス業	5		0	2	3
		100.0		0.0	40.0	60.0
	旅館業	3		3	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0
製造業	5		0	2	3	
	100.0		0.0	40.0	60.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

<平成 28 年 12 月調査>

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	増加	不変	減少
全体		23		8	9	6
		100.0		34.8	39.1	26.1
業種別	小売業	5		2	2	1
		100.0		40.0	40.0	20.0
	サービス業	5		2	2	1
		100.0		40.0	40.0	20.0
	旅館業	3		1	1	1
		100.0		33.3	33.3	33.3
製造業	5		1	1	3	
	100.0		20.0	20.0	60.0	
建設業	5		2	3	0	
	100.0		40.0	60.0	0.0	

○資金繰り

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		23		1	19	3
		100.0		4.3	82.6	13.0
業種別	小売業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		1	2	0
		100.0		33.3	66.7	0.0
製造業	5		0	4	1	
	100.0		0.0	80.0	20.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		23		1	19	3
		100.0		4.3	82.6	13.0
業種別	小売業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		0	3	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
製造業	5		0	4	1	
	100.0		0.0	80.0	20.0	
建設業	5		1	4	0	
	100.0		20.0	80.0	0.0	

○業況（自社）

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		23		2	16	5
		100.0		8.7	69.6	21.7
業種別	小売業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	サービス業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	旅館業	3		2	1	0
		100.0		66.7	33.3	0.0
製造業	5		0	3	2	
	100.0		0.0	60.0	40.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		21		1	17	3
		100.0		4.8	81.0	14.3
業種別	小売業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	サービス業	4		0	3	1
		100.0		0.0	75.0	25.0
	旅館業	3		1	2	0
		100.0		33.3	66.7	0.0
製造業	4		0	3	1	
	100.0		0.0	75.0	25.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

○長期資金借入難度

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	容易	不変	困難
全体		22		5	15	2
		100.0		22.7	68.2	9.1
業種別	小売業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		1	1	1
		100.0		33.3	33.3	33.3
製造業	4		0	4	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	
建設業	5		4	1	0	
	100.0		80.0	20.0	0.0	

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	容易	不変	困難
全体		21		3	16	2
		100.0		14.3	76.2	9.5
業種別	小売業	4		0	3	1
		100.0		0.0	75.0	25.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		0	2	1
		100.0		0.0	66.7	33.3
製造業	4		0	4	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	
建設業	5		3	2	0	
	100.0		60.0	40.0	0.0	

<平成 28 年 9 月調査>

○短期資金借入難度（含手形割引）

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	容易	不変	困難
全体		22	7	13	2
		100.0	31.8	59.1	9.1
業種別	小売業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	サービス業	5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
製造業	4	0	4	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

<平成 28 年 12 月調査>

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	容易	不変	困難
全体		21	3	17	1
		100.0	14.3	81.0	4.8
業種別	小売業	4	0	4	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
製造業	4	0	4	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	3	2	0	
	100.0	60.0	40.0	0.0	

○借入金利

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		22	0	20	2
		100.0	0.0	90.9	9.1
業種別	小売業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
製造業	4	0	3	1	
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		21	0	18	3
		100.0	0.0	85.7	14.3
業種別	小売業	4	0	4	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
製造業	4	0	3	1	
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	0	4	1	
	100.0	0.0	80.0	20.0	

質問 2. II. 来期の見通し

①前年同期と比べた来期の見通し

<平成 28 年 9 月調査>

<平成 28 年 12 月調査>

○売上額（売上高・加工高・完成工事高）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

	回答件数 計	増加	不変	減少
全体	21	3	14	4
	100.0	14.3	66.7	19.0
業種別	小売業	4	0	2
		100.0	0.0	50.0
	サービス業	5	1	3
		100.0	20.0	60.0
	旅館業	3	1	1
		100.0	33.3	33.3
製造業	4	0	4	
	100.0	0.0	100.0	
建設業	5	1	4	
	100.0	20.0	80.0	

	回答件数 計	増加	不変	減少
全体	23	3	17	3
	100.0	13.0	73.9	13.0
業種別	小売業	5	1	3
		100.0	20.0	60.0
	サービス業	5	0	4
		100.0	0.0	80.0
	旅館業	3	0	3
		100.0	0.0	100.0
製造業	5	1	3	
	100.0	20.0	60.0	
建設業	5	1	4	
	100.0	20.0	80.0	

○売上単価（客単価・加工単価・受注額）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

	回答件数 計	上昇	不変	低下
全体	22	4	15	3
	100.0	18.2	68.2	13.6
業種別	小売業	5	0	3
		100.0	0.0	60.0
	サービス業	5	1	4
		100.0	20.0	80.0
	旅館業	3	1	1
		100.0	33.3	33.3
製造業	4	0	4	
	100.0	0.0	100.0	
建設業	5	2	3	
	100.0	40.0	60.0	

	回答件数 計	上昇	不変	低下
全体	23	2	19	2
	100.0	8.70	82.61	8.70
業種別	小売業	5	0	4
		100.0	0.0	80.0
	サービス業	5	0	5
		100.0	0.0	100.0
	旅館業	3	0	2
		100.0	0.0	66.7
製造業	5	0	5	
	100.0	0.0	100.0	
建設業	5	2	3	
	100.0	40.0	60.0	

○仕入単価（商品仕入・材料仕入）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

	回答件数 計	上昇	不変	低下
全体	22	5	16	1
	100.0	22.7	72.7	4.5
業種別	小売業	5	3	2
		100.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	5
		100.0	0.0	100.0
	旅館業	3	1	1
		100.0	33.3	33.3
製造業	4	1	3	
	100.0	25.0	75.0	
建設業	5	0	5	
	100.0	0.0	100.0	

	回答件数 計	上昇	不変	低下
全体	23	9	14	0
	100.0	39.1	60.9	0.0
業種別	小売業	5	3	2
		100.0	60.0	40.0
	サービス業	5	2	3
		100.0	40.0	60.0
	旅館業	3	3	0
		100.0	100.0	0.0
製造業	5	1	4	
	100.0	20.0	80.0	
建設業	5	0	5	
	100.0	0.0	100.0	

<平成 28 年 9 月調査>

<平成 28 年 12 月調査>

○従業員（含臨時・パート）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	増加	不変	減少
全体		22		1	19	2
		100.0		4.5	86.4	9.1
業 種 別	小売業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	サービス業	5		1	4	0
		100.0		20.0	80.0	0.0
	旅館業	3		0	2	1
		100.0		0.0	66.7	33.3
	製造業	4		0	4	0
	100.0		0.0	100.0	0.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

		回答件数	計	増加	不変	減少
全体		23		2	19	2
		100.00		8.70	82.61	8.70
業 種 別	小売業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	サービス業	5		1	4	0
		100.0		20.0	80.0	0.0
	旅館業	3		1	1	1
		100.0		33.3	33.3	33.3
	製造業	5		0	4	1
	100.0		0.0	80.0	20.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

○外部人材（請負・派遣）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	増加	不変	減少
全体		21		1	19	1
		100.0		4.8	90.5	4.8
業 種 別	小売業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		1	1	1
		100.0		33.3	33.3	33.3
	製造業	3		0	3	0
	100.0		0.0	100.0	0.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

		回答件数	計	増加	不変	減少
全体		20		1	19	0
		100.0		5.0	95.0	0.0
業 種 別	小売業	4		0	4	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		1	2	0
		100.0		33.3	66.7	0.0
	製造業	5		0	5	0
	100.0		0.0	100.0	0.0	
建設業	3		0	3	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

○採算（経常利益）

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		22		2	15	5
		100.0		9.1	68.2	22.7
業 種 別	小売業	5		0	2	3
		100.0		0.0	40.0	60.0
	サービス業	5		1	3	1
		100.0		20.0	60.0	20.0
	旅館業	3		0	2	1
		100.0		0.0	66.7	33.3
	製造業	4		0	4	0
	100.0		0.0	100.0	0.0	
建設業	5		1	4	0	
	100.0		20.0	80.0	0.0	

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		21		0	16	5
		100.0		0.0	76.2	23.8
業 種 別	小売業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	サービス業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	旅館業	3		0	3	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	製造業	5		0	4	1
	100.0		0.0	80.0	20.0	
建設業	3		0	3	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

○資金繰り

(上段：件、下段：%)

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		22		1	18	3
		100.0		4.5	81.8	13.6
業 種 別	小売業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		0	3	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	製造業	4		0	3	1
	100.0		0.0	75.0	25.0	
建設業	5		1	4	0	
	100.0		20.0	80.0	0.0	

		回答件数	計	好転	不変	悪化
全体		23		2	18	3
		100.0		8.7	78.3	13.0
業 種 別	小売業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		0	3	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	製造業	5		0	4	1
	100.0		0.0	80.0	20.0	
建設業	5		2	3	0	
	100.0		40.0	60.0	0.0	

<平成 28 年 9 月調査>

○業況（自社）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	好転	不変	悪化
全体	20		2	13	5
	100.0		10.0	65.0	25.0
業種別	小売業		4	0	2
		100.0		0.0	50.0
	サービス業		4	1	2
		100.0		25.0	50.0
	旅館業		3	0	2
		100.0		0.0	66.7
製造業		4	0	3	
	100.0		0.0	75.0	
建設業		5	1	4	
	100.0		20.0	80.0	

<平成 28 年 12 月調査>

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	好転	不変	悪化
全体	23		2	18	3
	100.0		8.7	78.3	13.0
業種別	小売業		5	0	4
		100.0		0.0	80.0
	サービス業		5	0	4
		100.0		0.0	80.0
	旅館業		3	0	3
		100.0		0.0	100.0
製造業		5	0	4	
	100.0		0.0	80.0	
建設業		5	2	3	
	100.0		40.0	60.0	

②今期と比べた来期の見通し

<平成 28 年 9 月調査>

○業況（自社）

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	好転	不変	悪化
全体		22	2	15	5
		100.0	9.1	68.2	22.7
業種別	小売業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	サービス業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
製造業	4	0	3	1	
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	1	4	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	

<平成 28 年 12 月調査>

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	好転	不変	悪化
全体		21	2	14	5
		100.0	9.5	66.7	23.8
業種別	小売業	4	0	3	1
		100.0	0.0	75.0	25.0
	サービス業	5	0	2	3
		100.0	0.0	40.0	60.0
	旅館業	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
製造業	4	0	3	1	
	100.0	0.0	75.0	25.0	
建設業	5	2	3	0	
	100.0	40.0	60.0	0.0	

○長期資金借入難度

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	容易	不変	困難
全体		21	5	12	4
		100.0	23.8	57.1	19.0
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	0	3	2
		100.0	0.0	60.0	40.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
製造業	3	0	3	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	容易	不変	困難
全体		19	0	18	1
		100.0	0.0	94.7	5.3
業種別	小売業	4	0	3	1
		100.0	0.0	75.0	25.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	2	0	2	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
製造業	3	0	3	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

○短期資金借入難度（含手形割引）

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	容易	不変	困難
全体		21	6	13	2
		100.0	28.6	61.9	9.5
業種別	小売業	5	1	3	1
		100.0	20.0	60.0	20.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	1	1	1
		100.0	33.3	33.3	33.3
製造業	3	0	3	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	容易	不変	困難
全体		19	0	19	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
業種別	小売業	4	0	4	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	2	0	2	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
製造業	3	0	3	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

○借入金利

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		21	0	19	2
		100.0	0.0	90.5	9.5
業種別	小売業	5	0	4	1
		100.0	0.0	80.0	20.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
製造業	3	0	3	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

		回答件数 計	上昇	不変	低下
全体		20	0	19	1
		100.0	0.0	95.0	5.0
業種別	小売業	4	0	4	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	サービス業	5	0	5	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旅館業	3	0	2	1
		100.0	0.0	66.7	33.3
製造業	3	0	3	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	
建設業	5	0	5	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	

### ③ 今期の水準

<平成 28 年 9 月調査>

#### ○ 業況

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	良い	ふつう	悪い
全体		23		3	15	5
		100.0		13.0	65.2	21.7
業種別	小売業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	サービス業	5		1	3	1
		100.0		20.0	60.0	20.0
	旅館業	3		0	2	1
		100.0		0.0	66.7	33.3
製造業	5		1	2	2	
	100.0		20.0	40.0	40.0	
建設業	5		1	4	0	
	100.0		20.0	80.0	0.0	

<平成 28 年 12 月調査>

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	良い	ふつう	悪い
全体		23		2	18	3
		100.0		8.7	78.3	13.0
業種別	小売業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	サービス業	5		0	5	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	旅館業	3		0	3	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
製造業	5		1	2	2	
	100.0		20.0	40.0	40.0	
建設業	5		1	4	0	
	100.0		20.0	80.0	0.0	

#### ○ 採算 (経常利益)

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	黒字	収支トントン	赤字
全体		23		4	14	5
		100.0		17.4	60.9	21.7
業種別	小売業	5		0	3	2
		100.0		0.0	60.0	40.0
	サービス業	5		1	3	1
		100.0		20.0	60.0	20.0
	旅館業	3		1	1	1
		100.0		33.3	33.3	33.3
製造業	5		1	3	1	
	100.0		20.0	60.0	20.0	
建設業	5		1	4	0	
	100.0		20.0	80.0	0.0	

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	黒字	収支トントン	赤字
全体		23		5	14	4
		100.0		21.7	60.9	17.4
業種別	小売業	5		1	2	2
		100.0		20.0	40.0	40.0
	サービス業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	旅館業	3		1	2	0
		100.0		33.3	66.7	0.0
製造業	5		1	3	1	
	100.0		20.0	60.0	20.0	
建設業	5		2	3	0	
	100.0		40.0	60.0	0.0	

#### ○ 従業員 (含臨時・パート)

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	過剰	適正	不足
全体		22		0	18	4
		100.0		0.0	81.8	18.2
業種別	小売業	4		0	4	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	サービス業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	旅館業	3		0	1	2
		100.0		0.0	33.3	66.7
製造業	5		0	4	1	
	100.0		0.0	80.0	20.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

(上段：件、下段：%)

		回答件数	計	過剰	適正	不足
全体		22		0	18	4
		100.0		0.0	81.8	18.2
業種別	小売業	4		0	4	0
		100.0		0.0	100.0	0.0
	サービス業	5		0	4	1
		100.0		0.0	80.0	20.0
	旅館業	3		0	1	2
		100.0		0.0	33.3	66.7
製造業	5		0	4	1	
	100.0		0.0	80.0	20.0	
建設業	5		0	5	0	
	100.0		0.0	100.0	0.0	

質問3. 今期および来期の新規設備投資

I. 今期（上：平成28年9月調査、下：平成28年12月調査）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	実施していない	土地	建物・店舗	設備・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
全体	22		20	0	1	1	0	0	0	0	0
	100.0		90.9	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別	小売業	4		4	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	5		4	0	0	1	0	0	0	0
		100.0		80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	旅館業	3		3	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	5		4	0	1	0	0	0	0	0
		100.0		80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	5		5	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	実施していない	土地	建物・店舗	設備・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
全体	23		20	0	1	1	0	1	0	0	0
	100.0		87.0	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
業種別	小売業	5		4	0	1	0	0	0	0	0
		100.0		80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	5		4	0	0	0	0	1	0	0
		100.0		80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	旅館業	3		2	0	0	1	0	0	0	0
		100.0		66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	5		5	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	5		5	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

II. 来期（上：平成28年9月調査、下：平成28年12月調査）

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	計画していない	土地	建物・店舗	設備・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
全体	22		22	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別	小売業	4		4	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	5		5	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	旅館業	3		3	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	5		5	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	5		5	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

（上段：件、下段：％）

	回答件数	計	計画していない	土地	建物・店舗	設備・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
全体	23		21	0	1	1	0	0	0	0	0
	100.0		91.3	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別	小売業	5		5	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	5		4	0	0	1	0	0	0	0
		100.0		80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	旅館業	3		2	0	1	0	0	0	0	0
		100.0		66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	5		5	0	0	0	0	0	0	0
		100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	5		5	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

質問4. 経営上の問題点（上表：平成28年9月調査、下表：平成28年12月調査）

○小売業

（上段：件、下段：％）

大型店・中型店の進出による競争の激化	同業者の進出	購買力の他地域への流出	消費者ニーズの変化への対応	店舗の狭隘・老朽化	駐車場の確保	商品在庫の過剰	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	販売単価の低下・上昇	仕入単価の上昇	金利負担の増加	代金回収の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
1	0	3	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0
20.0	0.0	100.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0

（上段：件、下段：％）

大型店・中型店の進出による競争の激化	同業者の進出	購買力の他地域への流出	消費者ニーズの変化への対応	店舗の狭隘・老朽化	駐車場の確保	商品在庫の過剰	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	販売単価の低下・上昇	仕入単価の上昇	金利負担の増加	代金回収の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
2	0	2	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5	0	0
40.0	0.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

○サービス業

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	利用料金の低下・上昇	材料等仕入単価の上昇	金利負担の増加	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
1	1	3	2	0	0	2	1	0	0	1	1	3	0	0
20.0	20.0	60.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	利用料金の低下・上昇	材料等仕入単価の上昇	金利負担の増加	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
1	1	4	3	0	0	0	2	0	0	1	1	2	0	0
20.0	20.0	80.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0

○旅館業

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	利用料金の低下・上昇	材料等仕入単価の上昇	金利負担の増加	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
0	0	1	0	1	0	2	1	0	0	3	0	1	0	0
0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	利用料金の低下・上昇	材料等仕入単価の上昇	金利負担の増加	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	3	0	1	0	0
0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0

○製造業

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	製品ニーズの変化への対応	生産設備の不足・老朽化	生産設備の過剰	原材料価格の上昇	原材料の不足	人件費の増加	原材料費・人件費以外の経費の増加	製品(加工)単価の低下・上昇	金利負担の増加	取引条件の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
0	0	4	4	0	0	0	1	0	3	0	1	0	1	0	1	0	0
0.0	0.0	80.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	製品ニーズの変化への対応	生産設備の不足・老朽化	生産設備の過剰	原材料価格の上昇	原材料の不足	人件費の増加	原材料費・人件費以外の経費の増加	製品(加工)単価の低下・上昇	金利負担の増加	取引条件の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	需要の停滞	その他	特に問題はない
0	0	4	3	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0	0
0.0	0.0	80.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0

○建設業

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	材料価格の上昇	材料の入手難	人件費の増加	材料費・人件費以外の経費の増加	請負単価の低下・上昇	下請け価格の上昇	金利負担の増加	取引条件の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	下請業者の確保	官公需の停滞	民間需要の停滞	その他	特に問題はない
4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	1	5	0	0
80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0	100.0	0.0	0.0

（上段：件、下段：％）

大企業の進出による競争の激化	新規参入業者の増加	材料価格の上昇	材料の入手難	人件費の増加	材料費・人件費以外の経費の増加	請負単価の低下・上昇	下請け価格の上昇	金利負担の増加	取引条件の悪化	事業資金の借入	従業員の確保	熟練技術者の確保	下請業者の確保	官公需の停滞	民間需要の停滞	その他	特に問題はない
4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	5	0	0
80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	100.0	0.0	0.0

質問5. 質問2の業況に関する自由コメント

○平成28年12月調査

- ・仕入単価の上昇により、利幅が少なくなるのはもちろんお客様への販売価格が高騰することが懸念される。(小売業)
- ・新幹線も落ちつき、国体に向けてスポーツ団体の利用が多くなった。(旅館業)

中小企業景況調査

調査報告書

平成 29 年 1 月

あわら市商工会